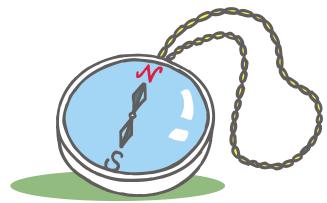


# 羅針盤



第 11 号

令和2年(2020年)7月13日(月)

## ◆ 西日本豪雨から2年

2年前の6月28日から降り続いた大雨は、列島の各地に甚大なる被害をもたらしました。7月に入って、6日から8日にかけて1府10県に大雨警報が発表され、氾濫危険水域を超えた河川は合計284を数え、過去の水害では最多となってしまった西日本豪雨。広島、岡山、愛媛の3県では、270人を超える死者・行方不明者、4万棟を超える住宅への浸水被害が出て、仮設住宅での生活を余儀なくされている方々もまだ多くいて、生活再建がままならぬ状況であると聞きます。仮設住宅での慣れない暮らしが長引くことによる疲労から、健康を維持できない状況にある人も数多くいるそうです。自然の猛威は容赦なく私たちの生活を顧みることなく、ある日突然やってきます。残念なことに、今月に入ってからも、積乱雲が次々と突発的に発生し、予想をはるかに上回る豪雨が九州地方を襲い、熊本県では大規模な氾濫を引き起こして、甚大なる災害を引き起こしました。「雨が降ることは知っていたが、これほどとは想像もしなかった」という人や、「大雨が降り続き、携帯電話での緊急速報メールの着信音が鳴ってはいたが、これほど大きな災害になるとは思わなかった」という人、「まだ大丈夫」、「ここは大丈夫」という思い込みや慢心が、災害をより大きな人的被害へつながると専門家は言います。コロナ禍で過ぎ行く日々の疲れを誰もが感じとっている現在ではありますが、防災のためのこれまでに得た教訓を私たちはどう生かしていくことができるのか、梅雨から台風シーズンへと向かう中、災害に対しての備えは十分なのか、今一度しっかりと振り返って、改めて考えておく時間が必要であると思います。そして、何よりも自然の驚異を侮ることなく、私たちの予想を大きく上回るような災害はいつやってくるのか分からぬということを決して忘れてはいけないと感じています。



## ◆ 定期テストに向けて

今週の15日(水)、16日(木)に、1学期の定期テストが行われます。先週の初めには、テスト範囲も示され、テスト計画も立てたとは思いますが、計画通りに学習は進んでいるでしょうか。残された時間は、誰もが同じです。今日と明日の2日間しかないという焦った気持ちで学習に向かうのか、それとも、今日と明日の2日間もあると考えて有効に時間を活用するのかによって結果が大きく違ってくるかもしれません。最年少で「棋聖」のタイトルを手にしようとしている、将棋の藤井聰太七段について、「中学生棋士」の著者である谷川浩司九段は、その著書の中で、両親も将棋には縁遠かった彼がどのようにして才能を開花させていったのか、それは彼自身を支えた環境が大きいことではあるが、そのことよりも、本人自身の「熱意をいかに長く維持できるか」ということが何よりも重要なことであると語っています。誰にも平等に与えられている限られた時間をどのように使うかは、君たち一人ひとりが持っている「熱意」に大きく左右されるのではないでしょうか。目の前の課題を着実に解決して、自分自身の道を切り開いていく力を、しっかりと養ってほしいと願っています。

